

人々に力を、 そして希望を

Empowering People,

Inspiring Hope

がんとの闘いを世界規模で推進

**Progress in the Global Fight
Against Cancer**

作成・発行: American Cancer Society (アメリカ対がん協会)

翻訳: 海外癌医療情報リファレンス (<http://f57.aaa.livedoor.jp/~cancerit/index.html>)

***** 原文はアメリカ対がん協会発行のパンフレットですが、この日本語訳は公式資料ではありません。 *****

***** あくまで リレー・フォー・ライフを理解するための 参考資料(試訳)として 提供するものです。 *****

***** 2006年4月 がん患者支援プロジェクト(CPSP) *****

世界規模でがんとの闘いをリードする:

アメリカ対がん協会 (American Cancer Society)

がんは、眠ることなく、人を選ぶこともありません。いつでも、どこでも、誰にでも起こりえます。 がんは国境はありません。したがって、アメリカ対がん協会にも国境はありません。 必要とされるあらゆるところで病気の根絶に貢献してきました。 当協会は世界中でがん撲滅の闘いのリード役として活躍しています。

アメリカ対がん協会は、90年以上の間、がんの研究、予防、情報提供、支援を率先して行ってきました。 全世界で新たに発足する多くのがん協会とその貴重な知識と経験を共有するために、世界最大で最も古い、もっとも成功した非営利団体として、当協会は世界中のパートナーらと共に歩む独自の立場を築いています。

ジョン・R・セフリン博士 (John R. Seffrin, PhD)

アメリカ対がん協会会長

国際対がん連合代表

なにも対処しなければ、次世紀のがんによる死亡はおよそ 10 億人 - タバコによる死亡だけで 5 億人 - に達するとみられます。これは、避けうる人命損失での歴史上まれにみる最悪の事象です。しかも、現在われわれの知識を共有することにより、何億人も命を救い、歴史を変えることができるのです。今、チャンスはわれわれに委ねられています。

(写真:略)

…でも、その多くの人々を助けることができるかもしれないのです。

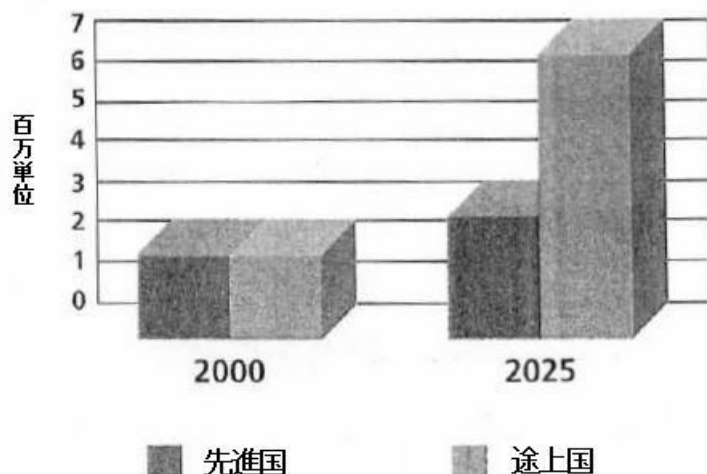
がんは、生命を脅かす病気の中でも、最も予防できる病気の一つであることは事実です。健康的な生活習慣を人々に取り入れてもらうことで何百万もの命を救うことができます。

タバコの流行は、最も破壊的で、そして回避しうる、世界のがん発症の大きな原因なのです。 2億5千万人以上の女性、10億人以上の男性が喫煙しています。 その数は世界の人口の 20%にも当たります。

このままだと、タバコは、今生きている5億以上の人々の命を奪います。 その中には、2億5千万人の子供たちも含まれています。 特に、開発途上国では大きな打撃となり、2025 年までに命を落とす人が毎年 700 万人に上るでしょう。

もし、この傾向が続けば、タバコはかつてないほどの規模で蔓延するでしょう。 タバコは 20 世紀において、1億人以上の喫煙者の命を奪ってきました。 しかし、21 世紀中には 10 億人も命を奪うかもしれません。 その半数の人々は、経済、社会、家族を支える時期である熟年期に人生を閉じることになります。

タバコによる年間死亡率



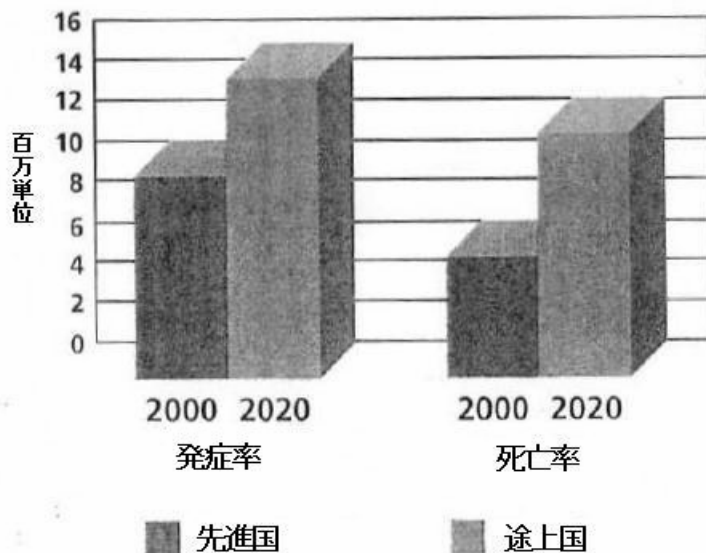
数百万もの命が失われようとしています

がんの世界的影響は驚くべき速度で大きくなっています。2000年には世界で1,000万人以上ががんと診断され、600万人以上が命を落としています。この状況が続けば、その数は飛躍的に増え、2020年には1,500万人ががんと診断され、1,200万人もの人々が命を奪われることになります。

悲惨なことに、その死の70%以上が急増するがんへの対処が出来ていない開発途上国で起こることになります。80%以上の患者は診断を受けるまでにすでに不治のがんになってしまっているでしょう。そして、先進国では長期生存率が約70%であるのに対して、開発途上国ではせいぜいその半分ほどです。

その数は膨大です。しかし、問題は数だけではありません。これらの人々は、母親、父親、子供たちや兄弟姉妹であり、文化を豊かにし、経済を支え、そして家族に愛されている人たちなのです。

世界規模のがんの発症率と死亡率



行動することで変わってゆくのです

先進国では、がんに勝利しつつあります。発症率と死亡率の減少がそれを表わしています。しかし、開発途上国ではがんが勝っています。積極的な行動を取らなければ、毎年、数百万人もの人々が、がん統計に計上されてしまいます。アメリカ対がん協会はその事態を避けるためにがん予防に取り組んでいます。当協会は、新たに創設されたがん協会など世界中のがん撲滅機関とともに力を合わせて、開発途上国のがん対策への取り組みを助けることを目的としています。

アメリカ対がん協会は、次のような世界的な活動をしています

能力開発: 当協会は、がん対策を始めたばかりの組織に対してアメリカ対がん協会大学を通じてあらゆる水準でその能力を高める努力をしています。

タバコ規制: 当協会では、タバコ規制支持者の世界規模でのネットワークと喫煙予防や禁煙のための優れたセンターを作っています。

情報の交換と提供: 当協会は、資料の翻訳や再生、そして情報を共有するための効果的な方法の開発により、さまざまな国々へ情報提供を広げようとしています。

研究: 当協会は、始まったばかりの調査や、国際的な研究の実施や支援をしています。そして、科学的根拠に基づいた報告を世界的ながん対策のために発表しています。

- ・ 海外から情報の提供を求める何千もの E メールが当協会のサイトである cancer.org に届いています。
- ・ アメリカ対がん協会の資料は 30 カ国語以上の言語に翻訳されました。
- ・ 50 カ国以上の国々のがん生存者が当協会のキャンサー・サバイバー・ネットワーク (Cancer Survivor's Network) に参加しています。
- ・ 世界的な「リレー・フォー・ライフ」のイベントが、オーストラリア、フィリピン、イギリス、ジャマイカ、台湾、カナダ、ホンジュラスで開催されています。このイベントによって、人々のがんへの認識が高まり、撲滅のための基金が設立されます。

栄養と身体活動

野菜や果物を豊富に摂り、定期的に運動をすることで発がんリスクを、最大 30%も減らすことが可能です。ところが残念なことに、世界中のあまりにも多くの人々は、こんなにも簡単ながん予防法を実施していません。

世界の 10 億人以上の成人が太りすぎで、そのうち少なくとも 30 万人は医学的な肥満です。世界の子供たちをめぐる状況も同様に懸念されるものです。多くの国々で、小児肥満率は、過去 20 年で 2 倍になっています。世界中で推定 1,760 万人の 5 歳未満児がすでに体重過多となっています。

この傾向が続けば、何百万という命が、がんや、それ以外の予防可能な病気で失われてしまうでしょう。

最近の研究では、肥満は発がんリスクを大きく増加させることが明らかになっています。それにもかかわらず、世界の肥満の流れは勢いを増すばかりです。例えば、ゴリアテ棺社(インディアナ州リン市)の設立当時は、3 倍幅の棺を販売するのは年に 1 つくらいでした。それから 20 年も経っていないのに、同社が販売する 3 倍幅の棺は、今や多いときで月に 5 つもあるのです。

感染因子

発展途上国では、がん疾患の 1/4 は感染因子と関係しています。こうした恐ろしいがんを、簡単で、効果も証明されている方法で予防や発見ができます。---しかし、それは、ほとんど先進国に限られています。

抗生物質に好反応を示すバクテリアであるピロリ菌の慢性感染症は、世界の胃がんのほぼ 50 万症例を占めます。肝がんの主な危険因子である B 型肝炎は、20 億人もの人々に認められます。B 型肝炎を予防するワクチンがありますが、それでも毎年新たに 40 万症例が肝がんとして診断されるほど、依然、危険因子のままです。そして、毎年ヒトパピロウイルスによる感染で、ほぼ 60 万人の女性が子宮頸がんと診断されています。パップテストを用いれば、最大 70%ものリスク低減に効果があると証明されています。

抗生物質、ワクチン、スクリーニングを用いれば、発展途上国のがんによる死亡を、毎年 100 万例以上予防することが可能です。

「アメリカ対がん協会の戦略的国際プログラムに投資し続けることで、

私たちは最大規模で命を救うパワーを持つことができるのです」

マリア・ワーシャム理学博士 (Maria Worsham, PhD, FACMG)

すべての人々にもっと明るい未来を

私たちは、世界のすべての人々にもっと明るい未来が訪れることを共に実現することができます。必要とされるあらゆる場所ですぐと戦っていくことで、アメリカ対がん協会や国際機関が世界中いたるところでがんの災いを撲滅することができます。

一緒に立ち上がりましょう。

- がんコントロール専門家や支援団体の世界的ネットワークの推進に協力しましょう。
- 世界中で最適な医療が行えるよう働きかけましょう。
- 異文化に対する知識や理解を深めましょう。
- こうした私たちの訴えを、国際的関心を持つ人々や企業にもっと伝えましょう。
- 米国移住民の健康を改善しましょう。
- 世界的レベルでタバコ規制をさらに大きく前進させましょう。

そして、一緒に、命を救いましょう。世界中でがんと直面している何百万人もの、夫、妻、父親、母親、兄弟姉妹、大切な人、友達に誰もが啓発や励まし、応援を必要としています。 それに応えられるのはアメリカ対がん協会だけなのです。

「何の行動もせずただ毎日を過ごしていれば、

世界中にがんを蔓延させてしまいます。私たちの行動が早ければ早いほど、世界のがんを早く抑えることができるのです。」

エルマー・ウエルタ医学博士 (Elmer Huerta, MD, MPH)

アメリカ対がん協会は、全国的な地域社会に基づくボランティア健康保健機関で、主な健康問題としてのがん撲滅のために設立されました。その活動とは、研究、教育、支援、行政を通して、がんを予防する、命を救う、がんの苦しみを軽減することです。

あなたが誰であっても、私たちはお手伝いします。詳しい情報やサポートについては、昼夜問わずいつでも、ご連絡ください。

アメリカ対がん協会